

# 生体振動センサ

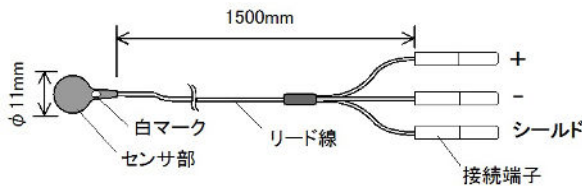
## 【禁忌・禁止】

### 併用医療機器

電気手術器（電気メス）、磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）を併用しないこと。[相互作用の項参照]

## 【形状・構造及び原理等】

### 形状



### 機能

感度\*: 0.1mV/V (許容差: ±20%)  
※センサ中心部の応力に対する出力電圧

### 作動・動作原理

センサ部に接触している生体表面の圧力変化を圧電素子により電気信号に変換し、医用電子機器に伝達します。

## 【使用目的又は効果】

### 使用目的

本品は、顔面等の生体振動（体動）を検出するために用いるセンサで、睡眠障害等（不眠症、いびき、睡眠時無呼吸等）の評価に用います。

## 【使用方法等】

使用する前に、接続する測定装置の取扱説明書を参照してください。

### 使用方法

- 1) 本品のセンサ部の白マークを上にして、測定したい顔面等の体表面に当てる。更にその上から医療用粘着テープを貼り、センサ部を固定します。
- 2) 本品の接続端子を医用電子機器に接続し、測定します。
- 3) 使用終了後、被験者から本品を丁寧に取り外します。

## 【使用上の注意】

### 重要な基本的注意

- ・装着は接触にゆりみがない様、しっかり固定すること。
- ・本品のコネクタを医用電子機器から取り外すときは、必ずコネクタを持って引き抜くこと。[リード線を持って引き抜くと断線する場合があります。]

## 相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）

### 併用禁忌（併用しないこと）

| 医療機器の名称等          | 臨床症状・措置方法  | 機序・危険因子                        |
|-------------------|--|--------------------------------|
| 磁気共鳴画像診断装置（MRI装置） | MRI検査を行う時は、被験者から取り外すこと。                            | 誘導起電力により局所的な発熱で被験者が熱傷を負うことがある。 |
| 電気手術器（電気メス）       | 電気手術器を使用する場合、本品を被験者から取り外すか、本品のコネクタを接続している機器から外すこと。 | 電気手術器の電流が本品に流れ、被験者が熱傷を負うことがある。 |

## 【保管方法及び有効期間等】

### 保管方法

- 本品は、以下の条件を満たす場所に保管すること。
- ・高温、高湿を避け、ほこり、塩分、イオウ分を含む空気さらされない場所。
  - ・化学薬品の保管場所を避け、ガスの発生しない場所。

### \*耐用限界について

製品の変色や劣化・破損があった場合、製品性能の維持が難しい場合には、使用を中止してください。

### \*\*【保守・点検に係る事項】

- ・本品は未滅菌製品です。
- ・使用する前に、エタノールを含ませた布等で拭いてください。  
※センサ部は防水機構ではないため、エタノールや洗浄液に浸さないでください。

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社ユニークメディカル  
TEL：03-3480-7259